

(申込受付) 住宅・建築SDGsフォーラム第45回月例セミナーのご案内
関係者の皆様

=====

住宅・建築SDGsフォーラムからのお知らせ

=====

平素より、当フォーラムの活動に多大なご理解と
ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、11月17日(金)に開催します下記月例セミナーについて、

申込受付のご案内をいたします。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_aiG2W5BoT129-vxXTVgGIA

からお申込みを戴きたくお願い申し上げます。

(「名」の部分に氏名をご記入いただきたくご協力をお願いいたします。)

以下、ご案内

住宅・建築SDGsフォーラム 第45回月例セミナー (WEB方式による)

「脱炭素・人口減少時代に考える住宅省エネ改修

～多様な住要求にどう応え、社会にどう定着させるか～」

日 時：2023年11月17日(金) 16:30-18:00

講 師：鈴木大隆氏 (北海道立総合研究機構 理事)

司 会：坊垣和明氏 (東京都市大学名誉教授)

開催方法：オンライン形式 (ZOOMによる Webinar 方式)

主 催：一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター

参加費：無料

定 員：500名

そ の 他:質疑応答の時間を設ける予定です。

セミナー概要 別紙

お申込み URL

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_aiG2W5BoT129-vxXTVgGIA

月例セミナーについてのお問い合わせ先

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター (IBECs)

住宅・建築SDGsフォーラム事務局

e-mail: sdgsforum@ibecs.or.jp

住宅・建築SDGsフォーラム 第45回月例セミナー
「脱炭素・人口減少時代に考える住宅省エネ改修
～多様な住要求にどう応え、社会にどう定着させるか～」

1. 概要

脱炭素社会の実現に向けて、民生部門で取り組むべき最も重要かつ難しい課題は、日本各地に建つ5300万戸程度の既存住宅をどうするかという点です。新築住宅においては、近年、住まい手やつくり手が省エネ性能などの住宅基本性能の向上に対する関心・理解の高さが、住宅省エネ基準を超えた“ZEHやさらなる高み”を推しすすめています。

しかし、既存住宅は新築住宅とは比べものにならない多様な世帯属性・住要求や、経時による機能・性能低下などによる二つとない住宅属性が関係し、既存住宅に相応しい「いくつかの定番の建築技法と目標」が存在しないことが「良質なりノベーション」を難しくしています。

残す価値がある既存住宅を「直し、良質ストック化」することは、単に住宅単体のエンボディドカーボンの削減にとどまらず、市街地再生や都市の脱炭素化にも大きく貢献し、まさに民生部門ができる総合的な脱炭素戦略の本丸ともいえます。

新築の住宅技術をそのままあてはめるのではなく、「その住宅のいま」をしっかりと見究め、健全で使えるものは使い、新築で培ってきた知恵を上手に活かすことが、既存住宅ならではの改修技法の秘訣ともいえます。

今回のセミナーでは、これまで住宅省エネ基準や国の既存住宅改修制度・事業や省エネ改修の研究・設計に数多く係わってきた北海道立総合研究機構の鈴木大隆（ひろたか）氏をお招きし、脱炭素・人口減少時代に考える住宅省エネ改修をどう進めるかを主なテーマに講演いただきます。

これを機に、既存住宅の良質ストック形成に向けた積極的な取組みが推進されることを期待します。

2. プログラム（予定） ※今後変更することがあります。

16:20	入室開始
16:30~17:30	講演
17:30~18:00	質疑応答
18:00	閉会

以上